

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道207号 ^{はらだ} 原田跨線橋		事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県杵島郡白石町坂田 至：佐賀県杵島郡白石町坂田				延長	0.8km
事業概要	原田跨線橋は、一般国道207号のJR長崎本線原田踏切における交通混雑の解消と交通安全の確保を目的とした、国道の立体交差化による踏切の解消を行う事業である。					
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H12年度用地着手	H18年度工事着手			
全体事業費	34億円	事業進捗率	32%	供用済延長	0km	
計画交通量	12,000~15,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 3.1	総費用 (残事業)/ (事業全体) 21/ 33億円 事業費：21/ 32億円 維持管理費：0.68/0.68億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 66/ 66億円 走行時間短縮便益：63/ 63億円 走行費用減少便益：1.7/ 1.7億円 交通事故減少便益：0.68/0.68億円	基準年 平成19年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.4(交通量+10%) B/C=2.8(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.8(事業費+10%) B/C=3.4(事業費-10%)					
事業の効果等	踏切による朝夕の慢性的な渋滞の解消、踏切前後で多発している追突事故の防止や通学路である当該道路の交通安全の確保。					
関係する地方公共団体等の意見	地元である白石町などで構成される「国道207号改良促進期成同盟会」等から早期整備の要望活動を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	終点側に近接して国道207号深浦・百貫拡幅事業として4車線化の拡幅事業に着手している。 終点部沿線に、地元白石町による分譲宅地開発が行われている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	これまで用地買収を先行して進めてきたため、ほぼ用地買収は概成している。平成18年度より一部工事に着手し、平成19年度より跨線橋下部工事に本格的に着手している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	未買収の地権者は2名を残すのみであり、一定の交渉期間は要するものの、ほぼ予定どおりの完成が見込まれる。					
施設の構造や工法の変更等	最適な事業計画であり見直しの必要はないが、用地買収が概成してから、一斉に工事を着手することで効率的な工事及び工期の短縮に努めている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。